

委員会設置提案書

提案者（理事名） 原 和彦

委員会の名称	「日本古燈器大観」と日本のあかり文化研究調査委員会
英文表記	Research Committee on the Kotoki-Taikan and the Lighting Culture in Japan
事業部門	照明に関する研究・調査・助成事業
関連常置委員会名	分科会運営委員会
設置の趣旨	多様化する光源の活用や明かりを文化として楽しむ生活に資するため、『日本古燈器大観』などの古典に学ぶだけでなく、実際にあかりを体験する活動などを通じて文化史・美術史・工学など様々な観点から調査・研究を行う。それにより、日本のあかり文化について多様な視点を提供し、照明学会内外に対してだけでなく、広く社会の照明に対する関心を高め、理解促進に寄与する。
予測される成果	・古燈器に関する情報の整理が進む ・あかり文化への理解が進む
成果のフォローアップ (会員への還元)	シンポジウムや研究会、および報告書等を通して、日本のあかりに関する情報を提供し、あかり文化に関する理解の増進を図る。
委員会の構成 (氏名：所属)	委員長（予定者）：大谷義彦 副委員長（予定者）：落合 勉 顧問（予定者）：染谷 彰 幹 事：新井英伸、花柳寿寛福、冬野朋子、前島正裕 委 員：海老名健一他 8名程度
設置期間	2022年 4月 ～ 2025年 3月
委員会開回数／年	6 回程度
活動計画	1. 古燈器大観の調査を継続する 2. あかりシンポジウム開催する 3. 見学会や研究会を開催する 4. 報告書を作成する
経費 委員等の旅費の支給対象の有無	<input type="checkbox"/> 有（理由： ） 支給対象者名 支給予算額 <input checked="" type="checkbox"/> 無
備考	

理事会の承認

承認 年 月 日